



ガーデニング

【サクラソウを育てる】

古くから全国の山野で自生する草花でしたが、今では群生地はわずか。大阪府では、奈良との府県境の金剛山麓に、サクラソウの原生種のクリンソウが自生しています。かれんなサクラソウは、大阪府の花として愛されています。



繊細で優しい姿が人気

新しい苗を植え付けるか、親株から芽分けして育てます。適期は11月～2月中旬。遅くなると株が十分に成長せず、花も小さくなります。芽が伸びてしまつと、植え替えの際に折れて、成長に悪影響を及ぼすことがあります。

【培養土の作り方】

家庭では、用土の割合は赤玉土6、腐葉土4を基本に。元肥として緩効性化成肥料を用土1kg当たり2～3g混ぜます。市販の培養土を用いても構いません。培養土を鉢の半分位まで入れ、中央を少し高めにします。

【芽分け・植え替え】

早春に植え付けた根茎には、1年後には不ぞろいな冬芽が2～5個出来きます。優しく1芽ずつに分けて植え替えます。4号鉢(直径12cm)で2～3芽、5号鉢(同15cm)で4～5芽が適当です。

【水やり・肥料】

植え付け後は、土が乾いて白くなるまで水やりは不要です。ただし、暖かくなると土が乾きやすくなるので、十分に水やりを。培養土に肥料が含まれる場合は追肥が不要ですが、葉の色が悪い、弱々しいと感じた時は、薄い液体肥料を与えます。

【花後の増し土】

開花は4月下旬～5月初め。花が終



車植え



拌み植え

冬芽の先端を鉢の中心に向けて植える

わつた後、新しい根茎が株元に出来始めます。新しい根茎は古いものよりもやや上に来るため、生長に従って土の表面に出てきます。地表面に出ると衰弱してしまうので、株元に用土を2cm程補充します。

1

芽を鉢に沿って、渦巻き状に植える



植え方パターン

2

鉢の中心部から、芽を放射状に配置する



放射植え

サクラソウは姿も色合いも優しいので、角張った形や濃い色、素焼きの鉢は避けよう

楽しい鉢えらび



丹波焼や信楽焼がよく似合う

お似合いですよ♡

2月の花情報

長居植物園では、「ニホンズイセン」と「梅」が見頃を迎えます。